

# 記者発表（配付）資料

平成 24 年 4 月 11 日

所属部課	館長	副館長	担 当	連絡先
萩博物館	湯本重男	樋口尚樹	樋口尚樹	25-6447

件 名	萩博物館調査研究報告第 7 号の発行について
-----	------------------------

萩博物館では、毎年学芸職員の調査研究活動の成果を広く知ってもらうため、『萩博物館調査研究報告』を発行しています。このたび、第 7 号を発行いたしましたので、ご高覧ください。

1. タイトル：萩博物館調査研究報告 第 7 号 (ISSN 1880-7992)

2. 内 容：「萩反射炉関連史料の調査研究報告（第二報）」

執筆者：道迫真吾（萩博物館主任研究員）

萩反射炉を安政 3 年（1856）築造の試験炉と結論づける論考。『萩博物館調査研究報告』第 5 号（2010 年 3 月）に発表した「第一報」の続編にあたるもので、安政 5 年（1858）の築造とされてきた萩反射炉の通説を塗り替える最新の研究成果。

「第二報」では、長州藩は文久 3 年（1863）から元治元年（1864）にかけて、村田蔵六（大村益次郎）らに再度反射炉築造に向けて人事発令を行ったものの、結局その動きは立ち消えとなったことなどを明らかにした。さらに、明治 4 年に至るまでのすべての史料を確認したところ、長州藩では実用的な反射炉を築いていないことが判明した。これらの事実から、萩反射炉は安政 3 年に長州藩が築いた試験炉であると結論づけた。

「吉田稔麿のこと」

執筆者：一坂太郎（萩博物館特別学芸員）

平成 23 年（2011）が吉田稔麿生誕 170 年に当たることから、稔麿に関して史料調査等を進め、松陰門下の三秀と称されながら、あまり業績を知られていない稔麿を、高杉晋作資料室において行った特集展示「吉田稔麿の生涯」や各種執筆活動で紹介した。その取り組みの中での気づき、疑問点をまとめた。

3. 編集・発行：萩博物館

4. 価格：500 円（萩博物館ミュージアムショップにて販売）

5. 発行日：平成 24 年（2012）3 月 30 日

6. 仕様：A 4 判、42 ページ、白黒印刷、300 部発行